

令和5年度 公益財団法人山形市文化振興事業団事業報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となり、人々の動きもコロナ禍以前に近い状態に戻ってきた。また、紅葉の時期が例年と比べて長く、それに伴い秋の観光シーズンも延び、さらにインバウンドの影響もあり観光客も増加傾向が見られた。

山寺芭蕉記念館では、特別展「芭蕉と蕪村」を開催し、江戸時代の二大俳人である芭蕉と蕪村を紹介し、芭蕉没後も蕪村たちによる蕉風復興運動など、芭蕉の影響が続いてきた歴史を振り返る機会とした。また、企画展「山寺」では、歴史資料と共に、山寺の景観を描いた絵画を公開してその魅力を伝えた。第66回全国俳句山寺大会は、コロナ禍で過去3回が誌上大会となったが、4年ぶりに当日参加者を迎えて開催することができた。

また、最上義光歴史館では、山形城の御城印販売を記念して、常設展／特別展示「山形城下絵図展」を開催して山形城下絵図7点を公開し、時代背景・城主・石高等を比較展示して、その変遷を紹介した。また、文化庁博物館支援事業の令和5年度文化芸術振興費補助金 Innovate MUSEUM事業の「地域の記憶「共創」アーカイブ事業」に参加し、収蔵資料のデジタルアーカイブ化のため、最上義光所用の三十八間総覆輪筋兜の立体映像の撮影を行った。

こうした取り組みの結果、山寺芭蕉記念館の入館者数は前年度対比26.9%の増加、茶席利用者数は67.6%の増加、施設全体の利用者数では41.9%の増加となった。

最上義光歴史館の入館者数は前年度対比で20.6%の増加となった。

山寺芭蕉記念館

1. 事業計画による主催事業について

(1) 展示事業

①企画展「お雛さまの美 ー山形に伝わる《桃の節句》の彩りー」

雛人形を展示し、その歴史を紹介するとともに、その工芸の美を鑑賞する機会とした。

○開催期間 4月1日(土)から4月10日(月)(延べ日数10日)

○入館者数 194名:1日平均約19名

(前年度は「お雛さまの美 ー山形に伝わる《桃の節句》の彩りー」開催、前年同期11日間で112名)

○総入館者数(2月9日~4月10日延べ61日)1,393名:1日平均約23名

(前年度は42日間で667名)

②企画展「芭蕉と門人たち ー芭蕉をめぐる江戸俳壇ー」

収蔵品の中から松尾芭蕉や芭蕉に影響を与えた先人たち、そして蕉門の人々の作品を紹介する。これにより、芭蕉の文学、芭蕉の俳諧が江戸時代に与えた影響を知るための機会とした。

○開催期間 4月14日(金)から6月12日(月)(延べ日数58日)

○入館者数 1,932名:1日平均約33名

(前年度は常設展開催、前年同期46日間で入館者1,904名)

③企画展「絵画に見る芭蕉の世界 ー漂泊の詩人の旅と俳諧ー」

収蔵品の中から松尾芭蕉や「奥の細道」を描いた絵画を公開することにより、芭蕉の旅の様子を知るための手がかりとし、旅情に思いを寄せる機会とした。

○開催期間 6月15日(木)から7月17日(月)(延べ日数33日)

○入館者数 1,494名:1日平均約45名

(前年度は特別展「坂田燦の『おくのほそ道』版画展」開催、前年同期46日間で1,194名)

④企画展「妖怪探訪 ー“もののけ”の不思議な世界ー」

妖怪は古来より様々な文学作品、美術作品に取り上げられ、松尾芭蕉も紀行文『おくのほそ道』の中で、妖怪「九尾の狐」の殺生石についてふれている。本展では、江戸初期から現代に至るまでの妖怪が登場する文学や美術作品を展示し、妖怪が日本文化の中でどのように語り継がれ、表現されてきたのか探る機会とした。

○開催期間 7月21日(金)から8月28日(月)(延べ日数39日)

○入館者数 2,809名:1日平均約72名

○関連事業 トワイライトミュージアム

・開催日時 8月5日(土) 午後4時30分から午後6時10分

- ・内 容 妖怪講座1「閻魔大王の前でどうする!?!死後の裁判講座」洋画家 安井 敏也氏
妖怪講座2「山形もののけ夜話」
作家 黒木 あるじ氏

- ・参加者 60名
ギャラリートーク(学芸員による展示解説)
- ・開催日時 8月11日(金)
- ・参加者数 48名

(前年度は企画展「今昔 妖怪・もののけ展 ―異界探訪 鬼退治伝説から呪術師まで―」開催、前年同期 39 日間で 2,543 名)

⑤特別展「芭蕉と蕪村 ―江戸時代の二大俳人―」

俳諧を芸術へと高めた松尾芭蕉と、芭蕉没後に蕉風復興運動の中心人物となり活躍した与謝蕪村。この二人を軸に江戸俳諧の大きな流れに焦点をあてて、江戸時代の俳諧文化の大きなうねりと、その魅力を紹介した。

- 開催期間 9月1日(金)から10月9日(月)(延べ日数 39 日)
- ギャラリートーク 9月10日(日) 参加者 8名
- 入館者数 1,572名:1日平均約 40名

(前年度は常設展開催、前年同期 32 日間で入館者数 656 名)

⑥企画展「山寺 ―悠久の歴史と美、そして文学―」

山寺の歴史を物語る資料を展示するとともに、山寺の四季折々の自然の魅力あふれる景観を描いた絵画を展示することで、山寺の時代を超えた魅力を紹介した。

- 開催期間 10月13日(金)から11月27日(月)(延べ日数 46 日)
- 入館者数 3,442名:1日平均約 75名

(前年度は特別展「江戸絵画の美 ―絵師から文人・俳人まで、その趣向と魅力―」開催、前年同期 48 日間で入館者数 2,877 名)

⑦企画展「収蔵名品展」

収蔵品の中から書画の名品を選び公開した。それにより、近世から現代までの様々な書画から、時代ごとに特徴が見られる美意識、作者それぞれの個性的表現の妙などをご覧いただける展示とし、書画の表現方法の多様性とその美を鑑賞する機会とした。

- 開催期間 12月1日(金)～2月5日(月)(延べ日数 52 日間)
- 入館者数 963名:1日平均約 19名

(前年度は正岡子規没後 120 年記念 企画展「子規からの近現代俳句 ―子規の俳句革新から現代俳句まで―」開催、前年同期 59 日間で 530 名)

⑧企画展「お雛さまの美 -雛飾りと紅花、そして「源氏物語」-

江戸時代の雛人形を中心に構成し、雛人形や桃の節句の歴史とその美術を展示して、日本文化の一端を紹介した。

○開催期間 2月9日(金)から3月31日(日)(延べ日数52日)

○入館者数 1,532名:1日平均約29名

(前年度は企画展「お雛さまの美 -山形に伝わる《桃の節句》の彩り-」開催、前年同期50日間で入館者数1,164名)

○ギャラリートーク 2月23日(金・祝) 参加者31名

○総入館者数(2月9日~4月8日延べ日数60日)1,678名:1日平均約28名

(前年度は60日間で入館者数1,393名)

(2) 普及啓発事業

①第66回全国俳句山寺大会

俳句の普及と振興をはかるため、山寺文化保存会と共催し、名勝山寺の地で芭蕉が訪れた時期に俳句大会を開催した。

○日 時 7月9日(日)

○選 者 細谷唳々氏(俳人、小児科医)、徳田千鶴子氏(「馬酔木」主宰)、小島 健氏(「河」同人会長)、阿部月山子氏(「春耕」同人)、鈴木正子氏(「初蝶」同人)、伊藤 寛氏(「古志」同人)、牧 静氏(「芯」同人)、伊藤ふみ氏(「馬酔木」同人)

○事前投句数 1,493句(前年度1,459句)

○大会参加者 66名(前年度は紙上大会のため参加者無し)

②「野外映画上映会」

山形市、山形市創造都市推進協議会、(NPO)山形国際ドキュメンタリー映画祭、当事業団の主催により実施した。

天候悪化が想定されたため山寺芭蕉記念館研修室1での上映とした。

○開催日時 8月19日(土) 午後6時30分から

○上映作品 「シチリアを征服したクマ王国の物語」

○参加者数 36名(前年度は「羅小黑戦記(ロジャオヘイセンキ)ぼくが選ぶ未来」を上映し、参加者55名)

③ヨガ教室

山寺コミュニティセンターとの共催により、5月・9月は山寺芭蕉記念館中庭で、11月は山寺芭蕉記念館研修室で実施した。(前年度実施無し)

○開催日時・参加者数 5月13日(土) 18名

9月30日(土) 20名

11月18日(土) 9名

④第 15 回山寺芭蕉記念館英語俳句大会

英語俳句を通して俳句の更なる交流促進、俳句文化の国際交流をはかるとともに、英語教育や文化、観光振興に寄与することを目的とした。

今年度は募集期間を7月1日から8月25日とした。

- 審査委員 飯島 武久氏(国際日本文化研究会顧問・山形大学名誉教授)
大場 登氏(第15回山寺芭蕉記念館英語俳句大会実行委員会委員長)
万里小路 譲氏(詩人・評論家)
リサ ソマーズ氏(翻訳家)
相馬 周一郎(公益財団法人山形市文化振興事業団理事長)
- 投句数 3,089句(前年度2,759句)
- 参加者数 2,358名(前年度2,049名)

⑤第 30 回山寺芭蕉記念館文化セミナー

広い視野で日本文化と歴史を見つめる講座を開設し、市民文化の向上をはかるとともに新たな視点を提示する。3回連続講座。

今回は「文学・歴史の深層 ―文学・歴史を創った人々とその背景―」と題して行った。

第1回 「天明文化の東西 ―蕪村と蔦重―」

- 日時・講師・参加者 10月7日(土)
山本 陽史氏(山形大学学術研究院教授) 42名

第2回 「『おくのほそ道』〈最上川〉の条を詠む―〈褻〉と〈晴〉の視点より―」

- 日時・講師・参加者 10月21日(土)
復本 一郎氏(神奈川大学名誉教授・国文学者) 41名

第3回 「坂本龍馬の史実と受容 ―歴史上の人物はコンテンツ文化とどう関わるか―」

- 日時・講師・参加者 10月28日(土)
石川 忠司氏(東北芸術工科大学教授・文芸評論家) 24名
(前年度は「東北歴史探訪 ―「みちのく」の文化、その歴史と深層―」と題し、3回の開催で計128名の参加者があった。)

⑥第 54 回芭蕉忌俳句大会

俳句の普及と振興をはかるため、山形県俳人協会と共催し、山寺の地で芭蕉を偲び句会を開催した。

- 日時 10月29日(日)
- 選者 阿部 月山子氏(「春耕」同人)、鈴木 正子氏(「初蝶」同人)、
伊藤 寛氏(「古志」同人)、牧 静氏(「苾」同人)、伊藤 ふみ氏(「馬
酔木」同人)
- 投句数 480句(前年度486句)
- 参加者数 29名(前年度37名)

⑦奥の細道マイスター養成講座

「奥の細道」のマイスターやガイドを育成する講座を奥の細道マイスターの会・山形大学と連携して開催した。

○開催日時・参加者数・参加料・内容

- ・「教養講座」11月11日(土) 参加者 27名 参加料 42,000円(12日分含む)
山寺芭蕉記念館収蔵品の魅力 山寺芭蕉記念館学芸員 相原一士
俳諧と俳句はどう違うのか 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
くずし字の読み方入門(1) 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
芭蕉の生涯と俳風・書体の変遷 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
- ・「教養講座」11月12日(日) 参加者数 27名
奥の細道の旅はどんな旅だったのか 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
掛軸のいろは―見方と取扱い― 山形大学学術研究院准教授 佐藤 琴氏
博物館を知ろう―地域の宝を守る― 山形大学学術研究院准教授 佐藤 琴氏
江戸時代の俳人の個性―芭蕉・蕪村・一茶― 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
- ・「ガイド認定講座」11月25日(土) 参加者 15名 参加料 2,000円
ガイドに向けてのアドバイス 奥の細道マイスターの会会員
もう一つの日本―ライシャワーの見た東北― 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
認定試験準備・個別指導 講師、奥の細道マイスターの会会員
試験認定
結果発表
江戸時代の旅はどんなものだったか 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
修了証書は後日発送
(前年度は教養講座 31名、ガイド認定講座 10名の参加者があった。)

⑧ボランティアガイドブラッシュアップ講座

山寺芭蕉記念館のボランティアガイドの養成、及び現在活動中のボランティアガイドのブラッシュアップのための講座を行った。

○日時・内容・参加者数

12月2日(土) 参加者数 18名

- ・奥の細道と曾良日記の違いを探る 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
- ・外国人を対象としたガイドのポイント 全国通訳案内士 アーウィン香織氏
- ・今さら聞けない?江戸時代・芭蕉についての雑学 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
- ・芭蕉の教養―芭蕉の師は?芭蕉の本棚は? 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏

12月3日(日) 参加者数 17名

- ・メソコスモス山寺を読み解く(1) 山形大学名誉教授 八木浩司氏
- ・メソコスモス山寺を読み解く(2) 山形大学名誉教授 八木浩司氏
- ・山寺の地形・フィールドワーク 山形大学名誉教授 八木浩司氏
(前年度は25名の参加者があった。)

⑨芭蕉を偲んで投句しよう(一般の部・小中学生の部)

俳句の普及をはかるため、館内に投句箱を設置し、投句選を行った。

- 投句数
 - ・一般の部 46句(前年度38句)
 - ・小中学生の部 12句(前年度14句)
- 選者
 - ・一般の部 伊藤 寛氏(山形県俳人協会会長)
 - ・小中学生の部 武田菜美氏(山形県俳人協会常任幹事)

⑩ICTに係わる企画と情報管理

インターネットを媒体として、ホームページやSNS(フェイスブック)を活用して様々な情報を発信した。事業の予告や報告、芭蕉及び「奥の細道」に関する情報の公開を行い、山寺芭蕉記念館の活動の周知に役立てた。

○アクセス件数

<4月から3月までの延366日間のアクセス件数>

	令和5年度	令和4年度
回数	149,476件 (408回/日)	206,225件 (565回/日)
人数	39,690件 (108人/日)	50,007件 (137人/日)

※10月1日よりアクセス件数検出方法が、高機能アクセスログからGoogleアナリティクスに移行したため前年度より減となった。

⑪『山寺芭蕉記念館だより』の作成〔年1回〕

事業の予告や報告、芭蕉及び「奥の細道」に関する情報の提供を行ない、山寺芭蕉記念館の活動の周知に役立てた。

(3) 茶席事業

①市民茶会(通年)

抹茶または煎茶の呈茶を行い、茶道作法など、茶道文化の啓蒙普及をはかるための事業を行った。

○実施状況

実施月	日数	利用者数(人)
4月	0	0

5月	3	246
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	1	66
10月	2	235
11月	1	51
12月	0	0
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
合計	7	598 (104.1%増)
前年度	5	293

() 内は前年度同期比 (%)

②茶房 芭蕉堂 (通年、但し市民茶会開催日を除く)

抹茶の呈茶を常時行い、茶道文化に親しむ一助とした。主に本館談話室で開催した。

○実施状況

実施月	日 数	利用者数 (人)
4月	27	125
5月	27	158
6月	28	139
7月	28	132
8月	28	177
9月	29	130
10月	26	208
11月	26	234
12月	23	35
1月	24	47
2月	24	55

3月	31	118
合計	321	1,558 (57.7%増)
前年度	325	988

()内は前年度同期比(%)

③山寺感謝の茶会

山寺地区民に対し、平素から山寺芭蕉記念館の事業に理解と協力を頂いていることへの感謝の意を表して呈茶を行い、茶の湯に親しむ機会とした。

- 日 時 11月23日(木・祝)
- 参加者数 46名(前年度33名)

(4) 収蔵品の貸し出し

貸し出しなし

(5) 収蔵品の掲載許可

①(一財)山形市都市振興公社

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和5年5月
- 内 容 山形駅自由通路でのパネル掲示。

②(株)ソリッドジャム

- 資 料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和5年7月11日
- 内 容 NHK BSプレミアム「新日本風土記～山形～」で使用。

③(株)帝国書院

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和7年4月1日～
- 内 容 教科書「社会科 中学生の歴史」に掲載。

④東北映音(株)

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和5年7月1日他
- 内 容 山形放送「わくわくやまが旅」他で使用。

⑤(株)東京ティラノサウルス

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆

- 期 日 等 令和5年7月18日
- 内 容 BS11「中山秀征の楽しく1万歩！小京都日和」で使用。

⑥(株)Vision1

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和5年10月31日
- 内 容 NHKWorld「Journeys in Japan イザベラ・バードを追ってパート3 新潟市内～山形盆地」他で使用。

⑦NHK

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和5年10月30日他
- 内 容 NHKBSプレミアム/BS4K「もういちど、日本 山形の紅花染め」で使用。

⑧(独法)日本芸術文化振興会 国立能楽堂

- 掲載資料 「蟻通凶」英一蝶 筆
- 期 日 等 令和6年1月1日
- 内 容 令和6年2月17日定例公演、能「蟻通」の公演プログラムに使用。

⑨(有)ソイ・ソース・クリエイティブ

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和6年3月3日
- 内 容 BSテレ東「地域にエール！まちカケル」で使用。

⑩山形大学附属博物館

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和6年3月1日～3月31日
- 内 容 ボローニャ大学附属博物館において、ボローニャ大学附属博物館・山形大学附属博物館友好5周年展「創造都市・山形展」開催の際にパネル展示。

2. 運営懇談会、資料整備検討委員会に関する事項について

(1)令和5年度 山寺芭蕉記念館運営懇談会

- 日 時 令和5年9月21日(木) 午後2時
- 場 所 山寺芭蕉記念館 会議室
- 内 容 ①報告 ・令和4年度事業報告
・令和5年度事業経過報告

- ②懇談 ・令和6年度事業及び運営について
・その他

(2)令和5年度 山寺芭蕉記念館資料整備検討委員会
開催なし

3. 特筆すべき事項について

(1) 山寺・蔵王ウルトラマラソン会場となる

4月23日、第4回山寺・蔵王ウルトラマラソン会場（スタート・ゴール地点）となった。

(2) 東北地区博物館協会・山形県博物館連絡協議会視察研修会で来館

11月1日、東北地区博物館協会・山形県博物館連絡協議会視察研修会で視察のため来館した。

(3) 山寺スタンプラリーのスタンプ設置

東日本旅客鉄道株式会社山形統括センター常務業務ユニットサービス推進委員会の主催事業で、山寺周辺地域の活性化とPRのため、11月3日に行なった山寺スタンプラリーのスタンプ設置に協力した。

(4) 『やまがた景観物語 100』の中で紹介される

2月9日に発行された冊子『やまがた景観物語 100』（監修：山形県 県土整備部 県土利用政策課）の中で「1 山寺芭蕉記念館から見る宝珠山立石寺の眺め」として紹介された。

(5) 「東北文化の日」に参加

「東北文化の日」推進委員会（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市）主催の「東北文化の日」に参加した。「東北文化の日」（令和5年度は10月28日、29日）を含む博物館関連施設イベントの情報を一体となって発信するもので、参加内容は企画展「山寺」、開催期間中の11月3日の文化の日無料開放日。

4. 施設利用状況について

(1) 臨時開館・臨時休館・時間延長について

期 日	区 分	説 明
4月3日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
4月10日(月)		
4月11日(火)	臨時休館	展示替えのため
4月12日(水)		
4月13日(木)		
4月17日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
4月24日(月)		
5月1日(月)		
5月8日(月)		
5月15日(月)		
5月22日(月)		
5月29日(月)		
5月31日(水)		
6月5日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
6月12日(月)		
6月13日(火)	臨時休館	展示替えのため
6月14日(水)		
6月19日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
6月26日(月)		
7月3日(月)		
7月10日(月)		
7月19日(水)	臨時休館	展示替えのため
7月20日(木)		
7月24日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
7月31日(月)		
8月7日(月)		
8月14日(月)		
8月21日(月)		
8月28日(月)		
8月29日(火)	臨時休館	展示替えのため
8月30日(水)		
8月31日(木)		
9月4日(月)	臨時開館	来館者サービスのため

9月11日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
9月19日(火)		
9月25日(月)		
10月2日(月)		
10月11日(水)	臨時休館	展示替えのため
10月12日(木)		
10月16日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
10月23日(月)		
10月30日(月)		
11月6日(月)		
11月13日(月)		
11月20日(月)		
11月27日(月)		
11月28日(火)	臨時休館	展示替えのため
11月29日(水)		
11月30日(木)		
12月4日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月6日(水)	臨時休館	消防設備点検
12月11日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月13日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月18日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月20日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月25日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月27日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月10日(水)	臨時休館	来館者サービスのため
1月15日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
1月17日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月22日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
1月24日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月29日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
1月31日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
2月5日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
2月6日(火)	臨時休館	展示替えのため
2月7日(水)		
2月8日(木)		
2月13日(火)	臨時開館	来館者サービスのため
2月19日(月)		

2月26日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
3月4日(月)		
3月11日(月)		
3月18日(月)		
3月25日(月)		

(2) 無料開放について

○市制施行記念無料開放:7月1日(土) 112名(前年度130名)

(内訳:大人112名)

○文化の日無料開放:11月3日(金・祝) 495名(前年度464名)

(内訳:大人461名、高校生3名、小中学生31名)

最上義光歴史館

1. 事業計画による主催事業について

(1) 展示事業

① 常設展／特設展示第一部「鐵[kurogane]の美 2023 ～戦国武将の刀、最上家ゆかりの刀～」

収蔵資料と寄託資料から戦国武将の刀と最上家ゆかりの刀剣を選定した。最上家家臣で大山城主・下吉忠ゆかりの刀や、最上義光没後に墓前で殉死した四人の忠臣の一人長岡光廣の子孫が代々伝承した刀を初めて一般に公開した。

○期 間 4月 5日(水)から 7月30日(日) (延日数101日間)

○入館者数 7, 274名 (1日平均約72名)

② 常設展／特設展示第二部「武士の晴れ姿 ～甲冑と戦の様相～」

収蔵資料から「武士の晴れ着」といわれる甲冑等の武具と合戦図や軍旗などを展示し、武士の晴れ姿を演出して、武士達の心意気を感じながら戦国の世に想いを馳せる展示とした。

○期 間 8月 2日(水)から11月26日(日) (延日数103日間)

○入館者数 10, 247名 (1日平均約99名)

③ 常設展／特設展示第三部 御城印販売記念「山形城下絵図展」

山形城の御城印販売(10月1日から販売)を記念して当館所蔵の山形城下絵図7点を展示公開した。描かれている絵図の時代背景や城主と石高などを明らかにしながら比較展示を行い、その変遷を紹介し、あわせて城郭の魅力や絵図の見どころなども紹介した。

○期 間 11月29日(水)から 3月31日(日) (延日数102日間)

○入館者数 5, 841名 (1日平均約57名)

(2) 普及啓発事業

① 歴史講座

こども講座「ヨシアキ☆すく～る!？」

山形市内の小学校に出向き、最上義光を中心に郷土の歴史や文化を学ぶ機会をつくり、郷土史に対する関心と理解を深め、愛郷心の育成を図った。

	令和4年度	令和5年度
実施校数	14校	12校
参加生徒数	955人	622人
講師	38人	32人

日 時	対 象	講 師 (最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」)
10月 3日(火) 10時55分～12時10分	山形市立出羽小学校 四年生 58名	3名
10月 6日(金) 10時55分～12時10分	山形市立第六小学校 四年生 73名	4名
10月31日(火) 10時55分～11時40分	山形市立滝山小学校 四年生 106名	3名
11月 2日(木) 11時 ～11時45分	山形市立桜田小学校 四年生 54名	3名
11月 9日(木) 13時50分～14時50分	山形市立本沢小学校 四年生 18名	2名
11月10日(金) 13時40分～14時45分	山形市立西山形小学校 四年生 18名	3名
11月21日(火) 10時45分～11時30分 11時35分～12時20分	山形市立第二小学校 四年生 66名	2名
11月29日(水) 11時 ～12時20分	山形市立第七小学校 四年生 69名	2名
12月13日(水) 10時40分～12時	山形市立宮浦小学校 四年生 50名	3名
12月14日(木) 13時55分～15時	山形市立東小学校 四年生 65名	2名
1月19日(金) 11時 ～12時20分	山形市立第一小学校 四年生 36名	3名
2月14日(水) 13時50分～14時50分	山形市立明治小学校 四年生 9名	2名

②ボランティアに係わる事業

「義光塾」

最上義光や郷土の歴史について多角的に学習して、来館者に対して幅広い知識で接遇が可能となるようにスキルアップを図った。

(回数3回：参加者総数109名)

内容、講師、日時、会場、受講者数、の順で記載

○「最上家の菩提寺・ゆかりの寺院」

安孫子博幸先生 (村山民俗学会会員)

12月17日(日) 13時30分から15時30分まで

最上義光歴史館 研修室 参加者26名

○「山形城絵図を読み解く」 市村幸夫先生 (村山民俗学会会員)

2月18日(日) 13時30分から15時30分まで

最上義光歴史館 研修室 参加者27名

○「城絵図の見方・読み方」 北野博司先生 (東北芸術工科大学教授)

3月 3日(日) 13時30分から15時30分まで

霞城公民館 2階 研修室1A、B 参加者56名

最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」	28名
山形霞城郷土史研究会	23名
関係者	5名

「現地研修会」

最上家や郷土の歴史に関する史跡等を現地研修し、現地に赴くことによってボランティアが郷土史と文化財に対する知識と理解を深め、来館者に対してより質の高い接遇が可能となるようにスキルアップを図った。

- ・日 時 9月19日(火)
- ・内 容 最上氏の本家である斯波氏・大崎氏ゆかりの地(宮城県大崎方面)の現地研修。
- ・研修先
 - ①長興寺(中新田城/最上氏の本家大崎氏の居城)
 - ②梅香院(小野城・大崎城/最上氏の本家大崎氏の居城)
 - ③岩出山伊達家霊廟(松窓寺)
 - ④城山公園(岩出山城址/伊達政宗の旧居城)
 - ⑤実相寺(大崎市岩出山の古刹/岩出山城主氏家弾正の菩提寺)
 - ⑥一栗城跡(大崎氏の家臣で後に義光に仕えた一栗隆春の居城)
- ・参加者 31名

○その他

- ・日 時 11月15日(水) 13時30分～15時30分
- ・内 容 伝国の杜サポーター(米沢市上杉博物館ボランティア)との意見交換と交流
- ・会 場 最上義光歴史館会議室
- ・参加者 20名
 - 伝国の杜サポーター 9名(館長及び随行職員含む)
 - 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」8名
 - 最上義光歴史館館長、職員2名

(3) 調査研究事業

収蔵資料台帳デジタルアーカイブ化事業

- ・11月27日 甲冑資料の撮影作業

特設展示第二部「武士の晴れ姿」～甲冑と戦の様相～の実施に伴い、展示された甲冑7点のデジタルカメラによる撮影を行ってデジタル画像を整備し、台帳整備とデジタルアーカイブに向けた電子化作業の準備を行った。

(4) その他の事業

① I T Cに係わる企画と情報管理

インターネットを媒体として、ホームページを活用して様々な情報を発信するとともに、企画から物販まで幅広く展開した。

令和5年10月1日から山形城の御城印の販売を行った。

・ホームページアクセス件数（4月から3月までの延366日間のアクセス件数）

＜一般ページ＞

	令和4年度	令和5年度	前年度比
回数	1,136,851回(3,115回/日)	902,325回(2,465回/日)	20.6%減
人数	134,822人(369人/日)	166,658人(455人/日)	23.6%増

＜こどもページ＞

	令和4年度	令和5年度	前年度比
回数	24,573回(67回/日)	21,674回(59回/日)	11.8%減
人数	6,306人(17人/日)	5,881人(16人/日)	6.7%減

＜スマートフォンサイト＞

	令和4年度	令和5年度	前年度比
回数	170,962回(468回/日)	199,017回(544回/日)	16.4%増
人数	47,030人(129人/日)	52,223人(143人/日)	11.0%増

②文化庁博物館支援事業

令和5年度文化芸術振興費補助金 Innovate MUSEUM事業へ参加

- ・事業名 地域の記憶「共創」アーカイブ事業
- ・事業者 山形アーカイブ実行委員会会長 大喜直彦（山形大学附属博物館館長/山形大学教授）※大城 啓当館館長は副会長
- ・事業目的 山形市中心市街地に係る資料と風景とオーラルヒストリーや地域博物館が収集してきた資料などをデジタル化して共有する仕組み（デジタルアーカイブ）をつくる。成果品は中心市街地の活性化や文化観光の推進、国際交流、次世代教育への活用、文化遺産の防災等に活用する。
- ・事業内容(当館)
当館収蔵資料のデジタルアーカイブ化。特に最上家や郷土史に係る資料の撮影及び台帳整備を行う。本年度は、最上義光所用の三十八間総覆輪筋兜の立体映像の撮影を行った。

③収蔵資料の貸出

- 最上義光所用 三十八間総覆輪筋兜 一頭
- 伝直江軍軍旗 一旒
- ・期間 令和5年4月5日(水)から同年5月24日(水)まで
- ・貸出先 米沢市上杉博物館(山形県米沢市丸の内1-2-1(伝国の杜内))
- ・内容 公益財団法人米沢上杉文化振興財団 米沢市上杉博物館主催の没後四〇〇年記念特別展「上杉景勝と関ヶ原合戦」前期の展示資料として

- 最上義光所用 鉄製指揮棒 一握
長谷堂合戦図屏風(複製) 六曲一双
- ・期 間 令和5年5月24日(水)から同年7月7日(金)まで
- ・貸出先 米沢市上杉博物館(山形県米沢市丸の内1-2-1(伝国の杜内))
- ・内 容 公益財団法人米沢上杉文化振興財団 米沢市上杉博物館主催の没後四〇〇年記念特別展「上杉景勝と関ヶ原合戦」後期の展示資料として
- 刀 銘 水心子正秀/寛政三年八月日(赤羽刀) 一振
- 刀 朱銘 来国次(委託資料) 一振
- 太刀 銘 藤光/元和□□月十月給之兼松又四郎源吉政(委託資料) 一振
- ・期 間 令和5年9月11日(月)から同年11月15日(水)まで
- ・貸出先 致道博物館(鶴岡市家中新町10-18)
- ・内 容 公益財団法人致道博物館主催の「日本刀物語 ～ 変遷と魅力～」の展示資料として

④収蔵資料の撮影及び利用等

- 水野氏時代山形城下絵図(委託資料)
 - ・使用目的 NHK「ブラタモリ」(令和5年7月22日放送)で映像使用
 - ・申請者 山形市企画調整部 文化創造都市課
- 『山形県史談』所載「最上義光像」
 - ・使用目的 NHK「ブラタモリ」(令和5年7月22日放送)で映像使用
 - ・申請者 日本放送協会 第3制作センター
- 長谷堂合戦図屏風(複製) 右隻四扇部分
 - ・使用目的 NHK総合「明鏡止水 ～武のSEKIGAHARA～」(令和5年8月16日放送)で映像使用
 - ・申請者 株式会社CURIOUS PRODUCTIONS(制作協力)
- 長谷堂合戦図屏風(複製) 六曲一双
 - ・使用目的 BS11「偉人・敗北からの教訓 #14 伊達政宗」(令和5年9月30日放送)で映像使用
 - ・申請者 有限会社タイクーン
- 長谷堂合戦図屏風(複製) 左隻 第四扇 大将最上義光公部分
 - ・使用目的 NHK放送番組「英雄たちの選択 “秀次事件”～豊臣政権、滅亡への出発点」(令和6年2月28日ほか放送)で映像使用
 - ・申請者 NHKメディア総局第2制作センター(文化)
- 長谷堂合戦図屏風(複製)、『山形県史談』所載「最上義光像」
 - ・使用目的 BS11「偉人・敗北からの教訓 #37 上杉景勝」(令和6年3月23日放送)で映像使用
 - ・申請者 株式会社テレパック
- 長谷堂合戦図屏風(複製) 左隻
 - ・使用目的 テレビ東京系列「開運!なんでも鑑定団」(令和6年3月19日20時54分から21時54分ほか放送)で映像使用
 - ・申請者 株式会社ネクサス

⑤印刷物等への利用

- 長谷堂合戦図屏風(複製) 左隻
 - ・目的 JTBパブリッシング刊『宮城の教科書』(令和5年5月発行)に掲載
 - ・申請者 株式会社エイジャ
- 『山形県史談』所載「最上義光像」
 - ・目的 高等学校地理歴史科副教材『最新日本史図表』(令和6年4月発行)に掲載
 - ・申請者 株式会社第一学習社
- 刀 水心子正秀/寛政三年八月日 一振
 - ・目的 刀剣ファンブック『地域と時代でたどる名刀ファイル』(令和5年9月発行)に掲載
 - ・申請者 株式会社天夢人
- 長谷堂合戦図屏風(複製) 左隻 第四扇・第五扇部分
 - ・目的 宮城県慶長使節船ミュージアムの展示パネルとして使用
 - ・申請者 株式会社乃村工藝社
- 最上氏時代山形城下絵図ほか
 - ・目的 『時空旅人』3月号 V o 1 . 7 8」東北ミュージアムの来春の展覧会紹介(令和6年1月発行)に掲載
 - ・申請者 株式会社プラネットライツ
- 長谷堂合戦図屏風(複製)
 - ・目的 『万年暦 合戦図譜31日めくりカレンダー』(令和6年5月発行)に掲載
 - ・申請者 株式会社コミュニティネット
- 三十八間総覆輪筋兜
 - ・目的 『酒井家庄内入部400年記念誌』(令和6年2月発行)に掲載
 - ・申請者 酒井家庄内入部400年記念実行委員会事務局
- 「最上義光歴史館」最上公義氏揮毫 公式ロゴ(縦・横)
 - ・目的 ペーパークラフトデータ提供部分の表記に使用(令和6年2月から)
 - ・申請者 株式会社シーイーシー
- 「賦何船連歌」初折の表部分
 - ・目的 東京大学公開オンライン講座(MOOC)のオンライン講座「The Power of Words」の中で使用
 - ・申請者 東京大学公開オンライン講座 権利処理担当 鈴木一平

⑥イベント等協力

- やまがた愛の武将隊 演武へ協力
 - ・期 日 11月19日(日) 11時から
 - ・場 所 最上義光歴史館前公園(旧中央公園)
 - ・内 容 やまがた愛の武将隊の自主企画
直江兼続、最上義光、志村光安による演舞と山形城御城印販促イベント

⑦その他

○最上義光命日記念イベント

- ・日 時 1月18日(木) 13時から
- ・内 容 最上義光の命日を記念し、山形城御城印のPRを目的に特別版作者の音海はる氏(山形市在住の色鉛筆画家)を招き、館内設置の記念撮影用立看板に署名していただいた。

2. 運営懇談会、資料整備検討委員会に関する事項について

(1)令和5年度 最上義光歴史館運営懇談会

- 日 時 令和5年7月27日(木) 午前10時
会 場 最上義光歴史館会議室
内 容 ①報告 ・最上義光歴史館令和4年度事業報告
・最上義光歴史館令和5年度事業経過報告
②懇談 ・最上義光歴史館令和6年度事業及び運営について

(2)令和5年度 最上義光歴史館資料整備検討委員会

開催なし

3. 特筆すべき事項について

(1) 義光会、最上義光武将隊等イベント参加

- ・ 4月 8日、9日 霞城観桜会の最上義光武将隊賑やかし
- ・ 10月 1日 第10回山形まるごとマラソン 沿道(山形城二の丸北門)での応援、御城印出陣式イベント補助
- ・ 10月14日 街なか賑わいフェスティバル2023 イベント補助と最上義光の啓発活動

(2) 広告掲載

- ・『そばマップ2023版 v o 1. 2 5』へ広告掲載
配布枚数 23,000枚
配布場所 掲載そば店30店舗、山形市周辺観光関係施設、山形市周辺宿

4. 施設利用状況について

(1) 臨時開館・臨時休館・開館時間延長

期 日	区 分	説 明
4月4日(火)	臨時休館	展示替え作業のため
4月8日(土)	開館時間延長(19時まで)	観桜会開催のため

4月9日（日）	開館時間延長(19時まで)	観桜会開催のため
8月1日（火）	臨時休館	展示替え作業のため
8月5日（土）	開館時間延長(18時まで)	花笠祭りのため
8月6日（日）	開館時間延長(18時まで)	花笠祭りのため
8月7日（月）	臨時開館 開館時間延長(18時まで)	花笠祭りのため
8月14日（月）	臨時開館	お盆期間のサービス拡大のため
11月28日（火）	臨時休館	展示替え作業のため

公益財団法人山形市文化振興事業団

1. 理事会・評議員会について

(1) 第1回理事会

- 日 時 令和5年5月26日(金) 午前11時
- 場 所 山形グランドホテル 白鳥
- 議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和4年度事業報告
及び決算の承認について (原案どおり承認可決)
- 第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団山寺芭蕉記念館運営
懇談会委員の委嘱について (原案どおり承認可決)
- 第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団山寺芭蕉記念館資料
整備検討委員会委員の委嘱について(原案どおり承認可決)
- 第4号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団最上義光歴史館運営
懇談会委員の委嘱について (原案どおり承認可決)
- 第5号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団最上義光歴史館資料
整備検討委員会委員の委嘱について(原案どおり承認可決)

(2) 定時評議員会

- 日 時 令和5年6月16日(金) 午前10時30分
- 場 所 山形グランドホテル サンリヴァ
- 議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和4年度事業報告
及び決算の承認について (原案どおり承認可決)
- 第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団評議員の選任について
(原案どおり承認可決)
- 第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団役員を選任について
(原案どおり承認可決)

(2) 第2回理事会

- 日 時 令和5年6月16日(金) 午前11時30分
- 場 所 山形グランドホテル サンリヴァ
- 議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団理事長、副理事長の選
定について (理事長に相馬周一郎理事、副理事長に寒河江
浩二理事、長谷川吉茂理事が選定される)
- 第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団再雇用職員に関する規
則の制定について (原案どおり承認可決)

(3) 第3回理事会(定款第37条の規定による書面決議)

日 時 令和5年12月26日(決議のあったとみなされた日)

議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和5年度正味財産増減補正予算について

第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について

第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団有期雇用職員に関する規則の制定について

(理事全員から同意があり、監事全員から異議がなく、第1号議案、第2号議案、第3号議案ともに原案通り承認された。)

(4) 第4回理事会

日 時 令和6年3月22日(金) 午後3時

場 所 山形グランドホテル アルプス

議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和6年度事業計画及び正味財産増減予算について (原案どおり承認可決)

第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和6年度定時評議員会の開催について (開催の日時、場所、目的を決定)

第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団就業規則の一部改正について (原案どおり承認可決)

2. 監査に関する事項について

(1) 令和4年度事前監査

日 時 令和5年5月11日(木) 午前9時30分

場 所 山寺芭蕉記念館 会議室

(2) 令和4年度監査

日 時 令和5年5月17日(水) 午後3時

場 所 最上義光歴史館 会議室

3. 山形県、山形県公益認定等審議会の立入検査について

(1)日 時 令和5年12月7日(木)

(2)場 所 山寺芭蕉記念館

(3)内 容 運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査(公益社団法人及び公益財団法人に関する法律(平成18年法律第49号)第27条第1項及び同法第59条第2項において読み替えて適用する同法第27条第1項の規定に基づく)

(4)結 果 特段の問題は認められなかった。